

1.2 関数の
極限

鈴木 譲

目次

関数の極
限: 定義

関数の極
限: 加減
乗除

関数の極
限: はさみ
うち

例 1.4

例 1.5

例 1.6

例 1.7

関数が収束
すれば、そ
の周りで
有界

数列の極限
との関係

1.2 関数の極限

鈴木 譲

2009年4月22日(水)

目次

1.2 関数の 極限

鈴木 譲

目次

関数の極
限: 定義

関数の極
限: 加減
乗除

関数の極
限: はさみ
うち

例 1.4

例 1.5

例 1.6

例 1.7

関数が収束
すれば、そ
の周りで
有界

数列の極限
との関係

- 1 関数の極限: 定義
- 2 関数の極限: 加減乗除
- 3 関数の極限: はさみうち
- 4 例 1.4
- 5 例 1.5
- 6 例 1.6
- 7 例 1.7
- 8 関数が収束すれば、その周りで有界
- 9 数列の極限との関係
- 10 関数についてのコーシーの収束条件
- 11 関数の極限: 右極限と左極限

関数の極限: 定義

1.2 関数の極限

鈴木 譲

目次

関数の極限: 定義

関数の極限: 加減乗除

関数の極限: はさみうち

例 1.4

例 1.5

例 1.6

例 1.7

関数が収束すれば、その周りで有界

数列の極限との関係

定義 ($x \rightarrow a$ での $f(x)$ の極限值, $\lim_{x \rightarrow a} f(x) = A$)

任意の $\epsilon > 0$ に対して、

$$0 < |x - a| < \delta \implies |f(x) - A| < \epsilon$$

なる $\delta = \delta(\epsilon)$ が存在する

例: $f(x) = x \rightarrow 0$ ($x \rightarrow 0$):

$$|x - 0| < \delta(\epsilon) := \epsilon \text{ で、 } |f(x) - 0| = |x| < \epsilon$$

関数の極限: 加減乗除

1.2 関数の極限

鈴木 譲

目次

関数の極限: 定義

関数の極限: 加減乗除

関数の極限: はさみうち

例 1.4

例 1.5

例 1.6

例 1.7

関数が収束すれば、その周りで有界

数列の極限との関係

定理

$f(x) \rightarrow A, g(x) \rightarrow B$ のとき、 $c \in \mathbb{R}$ として、
 $f(x) \pm g(x), c \cdot f(x), f(x) \cdot g(x)$ が収束し、

$$\textcircled{1} \quad \lim(f(x) \pm g(x)) = \lim f(x) \pm \lim g(x)$$

$$\textcircled{2} \quad \lim(c \cdot f(x)) = c \cdot \lim f(x)$$

$$\textcircled{3} \quad \lim(f(x) \cdot g(x)) = \lim f(x) \cdot \lim g(x)$$

$g(x) \neq 0, \lim g(x) \neq 0$ のとき、 $f(x)/g(x)$ が収束し、

$$\textcircled{4} \quad \lim(f(x)/g(x)) = \lim f(x) / \lim g(x)$$

関数の極限: 加減乗除 (続)

1.2 関数の極限

鈴木 譲

目次

関数の極限: 定義

関数の極限: 加減乗除

関数の極限: はさみうち

例 1.4

例 1.5

例 1.6

例 1.7

関数が収束すれば、その周りで有界

数列の極限との関係

証明:

① 任意の $\epsilon > 0$ について、 $0 < |x - a| < \delta$ で

$$|f(x) - A| < \frac{\epsilon}{2}, \quad |g(x) - B| < \frac{\epsilon}{2}$$

なる $\delta = \delta(\epsilon)$ が存在する。

したがって、任意の $\epsilon > 0$ について、 $0 < |x - a| < \delta(\epsilon)$ で

$$\begin{aligned} |(f(x) \pm g(x)) - (A \pm B)| &\leq |f(x) - A| + |g(x) - B| \\ &\leq \frac{\epsilon}{2} + \frac{\epsilon}{2} = \epsilon \end{aligned}$$

関数の極限: 加減乗除 (続)

1.2 関数の極限

鈴木 謙

目次

関数の極限: 定義

関数の極限: 加減乗除

関数の極限: はさみうち

例 1.4

例 1.5

例 1.6

例 1.7

関数が収束すれば、その周りで有界

数列の極限との関係

- ② $c = 0$ であれば自明。 $c \neq 0$ を仮定すると、任意の $\epsilon > 0$ について、 $0 < |x - a| < \delta$ で

$$|f(x) - A| < \frac{\epsilon}{|c|}$$

なる $\delta = \delta(\epsilon)$ が存在する。

任意の $\epsilon > 0$ について、 $0 < |x - a| < \delta(\epsilon)$ で

$$|cf(x) - cA| = |c||f(x) - A| < |c| \frac{\epsilon}{|c|} = \epsilon$$

関数の極限: 加減乗除 (続)

1.2 関数の極限

鈴木 謙

目次

関数の極限: 定義

関数の極限: 加減乗除

関数の極限: はさみうち

例 1.4

例 1.5

例 1.6

例 1.7

関数が収束すれば、その周りで有界

数列の極限との関係

③ 任意の $\epsilon > 0$ について、 $0 < |x - a| < \delta$ で

$$|f(x) - A| < \frac{\epsilon}{\epsilon + |A| + |B|}, \quad |g(x) - B| < \frac{\epsilon}{\epsilon + |A| + |B|}$$

なる $\delta = \delta(\epsilon)$ が存在する。

任意の $\epsilon > 0$ について、 $0 < |x - a| < \delta(\epsilon)$ で

$$\begin{aligned} & |f(x)g(x) - AB| \\ & < \left| \left(A + \frac{\epsilon}{\epsilon + |A| + |B|} \right) \left(B + \frac{\epsilon}{\epsilon + |A| + |B|} \right) - AB \right| \\ & = \left| \frac{\epsilon(\epsilon + A + B)}{\epsilon + |A| + |B|} \right| \leq \epsilon \end{aligned}$$

関数の極限: 加減乗除 (続)

1.2 関数の極限

鈴木 謙

目次

関数の極限: 定義

関数の極限: 加減乗除

関数の極限: はさみうち

例 1.4

例 1.5

例 1.6

例 1.7

関数が収束すれば、その周りで有界

数列の極限との関係

④ $\lim f(x)g(x) = AB$ より、 $\lim \frac{1}{g(x)} = \frac{1}{B}$ を示せば十分。

$$0 < |x - a| < \delta_0 \implies |g(x)| > |B|/2$$

となる δ_0 が存在する。実際、任意の $\epsilon > 0$ で $|x - a| < \delta_0(\epsilon) \implies |g(x) - B| < \epsilon$ より、

$$\left| |g(x)| - |B| \right| < |g(x) - B| < |B|/2$$

となる δ_0 が存在する。

他方、任意の $\epsilon > 0$ について、 $0 < |x - a| < \delta_1$ で

$$|g(x) - B| < \frac{|B|^2}{2}\epsilon$$

なる $\delta_1 = \delta_1(\epsilon)$ が存在する。

任意の $\epsilon > 0$ について、 $0 < |x - a| < \delta(\epsilon) := \min\{\delta_0, \delta_1(\epsilon)\}$

$$\left| \frac{1}{g(x)} - \frac{1}{B} \right| < \frac{|g(x) - B|}{|g(x)||B|} < \frac{\epsilon|B|^2/2}{|B||B|/2} = \epsilon$$

関数の極限: はさみうち

1.2 関数の極限

鈴木 謙

目次

関数の極限: 定義

関数の極限: 加減乗除

関数の極限: はさみうち

例 1.4

例 1.5

例 1.6

例 1.7

関数が収束すれば、その周りで有界

数列の極限との関係

定理

$$\lim_{x \rightarrow a} f(x) = A, \lim_{x \rightarrow a} g(x) = B,$$

$0 < |x - a| < \delta$ で $f(x) \leq h(x) \leq g(x)$ なる $\delta > 0$ が存在
 $\implies \lim_{x \rightarrow a} h(x) = A$

証明: 任意の $\epsilon > 0$ について、

$$0 < |x - a| < \delta_0 \implies |f(x) - A| < \epsilon, |g(x) - A| < \epsilon$$

なる $\delta_0 = \delta_0(\epsilon)$ が存在する。

$$0 < |x - a| < \delta \implies f(x) \leq h(x) \leq g(x)$$

より、 $|x - a| < \min\{\delta_0(\epsilon), \delta\}$ で

$$A - \epsilon \leq f(x) \leq h(x) \leq g(x) < A + \epsilon$$

例 1.4

1.2 関数の 極限

鈴木 譲

目次

関数の極
限: 定義

関数の極
限: 加減
乗除

関数の極
限: はさみ
うち

例 1.4

例 1.5

例 1.6

例 1.7

関数が収束
すれば、そ
の周りで
有界

数列の極限
との関係

$x \rightarrow 0$ で、

$$x \rightarrow 0, \quad x^2 = x \cdot x \rightarrow 0$$

$$3 + 2x \rightarrow 3, \quad 5 - 4x^2 \rightarrow 5$$

$$\frac{3x^2 + 2x^2}{5x^2 - 4x^4} = \frac{3 + 2x}{5 - 4x^2} \rightarrow \frac{3}{5}$$

例 1.5

1.2 関数の 極限

鈴木 謙

目次

関数の極
限: 定義

関数の極
限: 加減
乗除

関数の極
限: はさみ
うち

例 1.4

例 1.5

例 1.6

例 1.7

関数が収束
すれば、そ
の周りで
有界

数列の極限
との関係

$a > 0$

任意の $\epsilon > 0$ に対して、 $0 < |x - a| < \delta(\epsilon) := \sqrt{a}\epsilon$ で、

$$|\sqrt{x} - \sqrt{a}| = \frac{|x - a|}{\sqrt{x} + \sqrt{a}} < \frac{\delta}{\sqrt{a}} = \epsilon$$

したがって、 $\sqrt{x} \rightarrow \sqrt{a}$ ($x \rightarrow a$)

$x \rightarrow 0$ で、

$$1 + x \rightarrow 1, \quad 1 - x \rightarrow 1$$

$$\sqrt{1 + x} \rightarrow 1, \quad \sqrt{1 - x} \rightarrow 1$$

$$\frac{x}{\sqrt{1 + x} - \sqrt{1 - x}} = \frac{\sqrt{1 + x} + \sqrt{1 - x}}{2} \rightarrow 1$$

例 1.6

1.2 関数の 極限

鈴木 譲

目次

関数の極
限: 定義

関数の極
限: 加減
乗除

関数の極
限: はさみ
うち

例 1.4

例 1.5

例 1.6

例 1.7

関数が収束
すれば、そ
の周りで
有界

数列の極限
との関係

$x \rightarrow 0$ で、

$$0 \leq \left| x \sin \frac{1}{x} \right| \leq |x| \rightarrow 0$$

$$x \sin \frac{1}{x} \rightarrow 0$$

例 1.7

1.2 関数の 極限

鈴木 譲

目次

関数の極
限: 定義

関数の極
限: 加減
乗除

関数の極
限: はさみ
うち

例 1.4

例 1.5

例 1.6

例 1.7

関数が収束
すれば、そ
の周りで
有界

数列の極限
との関係

$x \rightarrow 0$ で、

$$\frac{\sin x}{x} \rightarrow 1$$

証明: 各自テキストを読む

関数が収束すれば、その周りで有界

1.2 関数の 極限

鈴木 謙

目次

関数の極
限: 定義

関数の極
限: 加減
乗除

関数の極
限: はさみ
うち

例 1.4

例 1.5

例 1.6

例 1.7

関数が収束
すれば、そ
の周りで
有界

数列の極限
との関係

定理

$f(x)$ が $x \rightarrow a$ で収束

\implies 「 $0 < |x - a| < \delta \implies |f(x)| < M$

となる $M > 0$ と $\delta > 0$ が存在」

証明: $f(x) \rightarrow A$ であれば、任意の $\epsilon > 0$ について、
 $0 < |x - a| < \delta(\epsilon)$ で $|f(x) - A| < \epsilon$

$$|f(x)| - |A| \leq |f(x) - A| < \epsilon$$

となる。 $M := |A| + \epsilon$, $\delta := \delta(\epsilon)$ とおく。

数列の極限との関係

1.2 関数の 極限

鈴木 譲

目次

関数の極
限: 定義

関数の極
限: 加減
乗除

関数の極
限: はさみ
うち

例 1.4

例 1.5

例 1.6

例 1.7

関数が収束
すれば、そ
の周りで
有界

数列の極限
との関係

定理

$$f(x) \rightarrow A \quad (x \rightarrow a)$$

\iff 「 $x_n \rightarrow a \quad (n \rightarrow \infty)$, $x_n \neq a$ を満足する任意の数列 $\{x_n\}$ で
 $f(x_n) \rightarrow A \quad (n \rightarrow \infty)$ 」

証明: 演習問題で各自

関数についてのコーシーの収束条件

1.2 関数の 極限

鈴木 謙

目次

関数の極
限: 定義

関数の極
限: 加減
乗除

関数の極
限: はさみ
うち

例 1.4

例 1.5

例 1.6

例 1.7

関数が収束
すれば、そ
の周りで
有界

数列の極限
との関係

定理

「 $f(x)$ が $x \rightarrow a$ で収束」

\iff

「任意の $\epsilon > 0$ について、

$$0 < |x - a| < \delta, 0 < |t - a| < \delta \implies |f(x) - f(t)| < \epsilon$$

なる $\delta = \delta(\epsilon)$ が存在」

証明: 演習問題で各自

関数の極限: 定義 (続)

1.2 関数の極限

鈴木 謙

目次

関数の極限: 定義

関数の極限: 加減乗除

関数の極限: はさみうち

例 1.4

例 1.5

例 1.6

例 1.7

関数が収束すれば、その周りで有界

数列の極限との関係

定義 $f(x)$ が $+\infty$ に発散, $f(x) \rightarrow +\infty$

任意の $M > 0$ について

$$0 < |x - a| < \delta \implies f(x) > M$$

なる $\delta = \delta(M)$ が存在する

定義 $f(x)$ が $-\infty$ に発散, $f(x) \rightarrow -\infty$

任意の $M < 0$ について

$$0 < |x - a| < \delta \implies f(x) < M$$

なる $\delta = \delta(M)$ が存在する

関数の極限: 右極限と左極限

1.2 関数の極限

鈴木 謙

目次

関数の極限: 定義

関数の極限: 加減乗除

関数の極限: はさみうち

例 1.4

例 1.5

例 1.6

例 1.7

関数が収束すれば、その周りで有界

数列の極限との関係

定義 ($x \rightarrow a$ での $f(x)$ の右からの極限值, $\lim_{x \rightarrow a+0} f(x) = A$)

任意の $\epsilon > 0$ に対して、

$$0 < x - a < \delta \implies |f(x) - A| < \epsilon$$

となる $\delta = \delta(\epsilon)$ が存在する

定義 ($x \rightarrow a$ での $f(x)$ の左からの極限值, $\lim_{x \rightarrow a+0} f(x) = A$)

任意の $\epsilon > 0$ に対して、

$$0 < a - x < \delta \implies |f(x) - A| < \epsilon$$

となる $\delta = \delta(\epsilon)$ が存在する

関数の極限: 右極限と左極限 (続)

1.2 関数の極限

鈴木 譲

目次

関数の極限: 定義

関数の極限: 加減乗除

関数の極限: はさみうち

例 1.4

例 1.5

例 1.6

例 1.7

関数が収束すれば、その周りで有界

数列の極限との関係

右からの極限と左からの極限は、一般には一致しない。

例:

$$f(x) = \begin{cases} 1, & x > 0 \\ -1, & x < 0 \end{cases}$$

$$\lim_{x \rightarrow 0+0} = 1 \neq -1 = \lim_{x \rightarrow 0-0}$$

関数の極限: 右極限と左極限 (続)

1.2 関数の極限

鈴木 譲

目次

関数の極限: 定義

関数の極限: 加減乗除

関数の極限: はさみうち

例 1.4

例 1.5

例 1.6

例 1.7

関数が収束すれば、その周りで有界

数列の極限との関係

極限が存在

右からの極限と左からの極限が存在して等しい

$$\begin{cases} 0 < x - a < \delta_1(\epsilon) \implies |f(x) - A| < \epsilon \\ 0 < a - x < \delta_2(\epsilon) \implies |f(x) - A| < \epsilon \end{cases}$$

が成立すれば、 $\delta(\epsilon) := \min\{\delta_1(\epsilon), \delta_2(\epsilon)\}$ で、

$$0 < |x - a| < \delta(\epsilon) \implies |f(x) - A| < \epsilon$$

逆にこれが成立すれば、

$$\begin{cases} 0 < x - a < \delta(\epsilon) \implies |f(x) - A| < \epsilon \\ 0 < a - x < \delta(\epsilon) \implies |f(x) - A| < \epsilon \end{cases}$$

関数の極限: 定義 (続)

1.2 関数の極限

鈴木 謙

目次

関数の極限: 定義

関数の極限: 加減乗除

関数の極限: はさみうち

例 1.4

例 1.5

例 1.6

例 1.7

関数が収束すれば、その周りで有界

数列の極限との関係

定義 $(f(x) \rightarrow A (x \rightarrow +\infty), f(x) \rightarrow +\infty)$

任意の $\epsilon > 0$ について

$$M < x \implies |f(x) - A| < \epsilon$$

なる $M = M(\epsilon) > 0$ が存在する

定義 $(f(x) \rightarrow A (x \rightarrow -\infty), f(x) \rightarrow +\infty)$

任意の $\epsilon > 0$ について

$$x < M \implies |f(x) - A| < \epsilon$$

なる $M = M(\epsilon) < 0$ が存在する